

留 学 報 告 書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	3年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	約 46 万円
保険料	約 7 万円
宿舍費（1 か月あたり）	約 4.5 万円
食費（1 か月あたり）	約 4 万円
渡航旅費	約 26 万円

滞在形態関連

1) 種類
寮ルームシェア
2) 部屋の形態
相部屋（3人のちに2人）
3) 設備
シャワー, お風呂（浴槽）, トイレ, エアコン, キッチン, ランドリー, インターネット, 電話, Studying Room, 宅配ボックス, 衣裳部屋。
4) 住居を探した方法
インターンシップ先の指定

現地情報	
1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？	はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？	いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？	はい。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？	はい。おたふく
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？	留学先の友人，日本にいる友人や家族
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？	ディズニーワールド周辺の治安は良いと感じました。しかし、1人で行動する時は、周りを確認して注意しながら歩いていました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？	私は現地に着いてからインターネットショッピングでSIMカードを購入しました。SIMカードを購入すると、現地の国の電話番号が手に入るところにメリットを感じました。また、寮のWi-Fiは部屋によって強弱の差がありました。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？	ディズニーからデビットカードが郵送されてきました。そのカードにお給料が振り込まれるシステムでした。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？	無料のバスでウォルマートへ行くことができましたが、乗車時間が長いこともありストレスを感じることもありました。そのため、私は徒歩15分ほどのスーパーへよく行っていました。また、多くの日本食はエプコットの日本館で購入できました。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？	クレジットカード

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

インターンシップ生はクローズ作業を任されることが多く、勤務地・職種によりますが、深夜 12 時を超えて働くことも普通でした。しかし、勤務地と寮はバスが通っているので安心して帰宅することができました。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？

留学先大学のピックアップサービス

2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？

はい。10 日間フロリダ州立大学に通い、ほぼ毎日昼過ぎまでの授業後オリエンテーションがありました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名

Applied Intercultural Communication

授業内容や試験、授業を受けた感想について

インターンシップ生活を通して感じた、日本とアメリカの文化の差についてレポートを書くことが主な授業内容でした。

履修した授業科目名

Intercultural Communication

授業内容や試験、授業を受けた感想について

月に 1, 2 回日本, 韓国, 中国, 香港, マカオ, カナダ, メキシコの学生が集まり、各国の文化の違いを学びました。

履修した授業科目名
Intercultural Communication Practicum
授業内容や試験、授業を受けた感想について
ディズニーでのインターンシップを指し、経験したこと・感じたことなどをレポートにまとめて提出しました。

履修した授業科目名
Corporate Social Responsibility
授業内容や試験、授業を受けた感想について
ディズニーの経営理念を基に、日本とアメリカの企業文化の違いを学ぶ授業でした。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>私は、ディズニーのホスピタリティーやビジネスを実践的に学ぶことができることに魅力を感じ参加しました。まず、大学生の間で海外で働く経験ができることはとても貴重な機会だと感じました。さらに、ディズニーのホスピタリティーや経営は書籍化されていたり、テレビで特集されていることもあります。これらを現場で実際に体験して学ぶことはより深い学びに繋がると感じました。そのため、私はこのプログラムに参加しました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>1年生の夏ごろから TOEFL 対策を始め、自分が苦手な技能に特化した参考書を購入し、徹底的に苦手を克服できるようにしていました。また、ディズニーカンパニーのリクルーター面接対策のために、日常的に英語を話す習慣をつけるために、毎日 30 分欠かさず英語のオンラインレッスンを受講していました。また、学校の授業とは別に個別の英会話スクールに通い、ネイティブの先生に提出する書類のチェックや面接の練習をお願いしていました。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>私が最も活用していたアプリは、ディズニーインターンシップのバスの時刻表やリアルタイムで運行状況がわかるアプリです。仕事やパークに遊びに行く際は、車を持っていない海外のインターン生にとってバスが必要不可欠のため、毎日欠かさず使用していたと思います。また、パークの運営時間、待ち時間、ファストパス取得、レストランの予約のためにディズニーワールド公式のアプリを使うと便利なので、私は、よく活用していました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>私は 2 つの職場を経験しましたが、どちらも良い雰囲気でも働きやすい職場だったと思います。積極的に多くの同僚が話しかけてくれたりと楽しみながら、働くことができました。私は、想像以上に英語だけでなくスペイン語を話すことができる人が多くで驚きました。さらに、両方の職場では様々な人種のキャストがいましたが、私はアジア人だからという理由で嫌味を言われたり、いじめられたり人種差別を受けるということはありませんでした。</p>

滞在先の雰囲気	<p>テーマパークのため、明るく楽しい雰囲気の中で自分自身も楽しみながら働くことができました。ゲストも日本と比べ、フレンドリーで陽気な方が多かった印象があります。また、フロリダは、アメリカ本土有数のリゾート地ということもあり温暖な気候で過ごしやすかったです。私は、12月1月でも半袖を着ていた日は多かったです。コートが必要となるような本当に寒い日は、限られていて夜でも長そで1枚あれば、外を歩くことができました。</p>
留学先における交友関係	<p>一緒に留学に参加した明治の学生とは、共同生活をしたり、仕事の悩みなども似ていることからすぐに仲良くなりました。さらに、私は職場でも沢山の友人を作ることができました。みんな気さくに話してくれ、有意義な時間を過ごすことができました。アメリカのインターンシップ生は車を持っていることが多く、仕事帰りによく家の前まで送ってもらっていました。また、世界各国にできた友人とは今でも SNS を通じてコミュニケーションをとっています。</p>
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	<p>私は、それ以前旅行でしか海外経験がなかったので、英語力不足でゲストから怒られることもあり心が折れそうになり、泣きながら仕事へ向かう日もありました。また、初めは自分から積極的に職場の輪に入ることに難しさを感じ、人間関係で悩んだこともありましたが、しかし、私は積極的に人に話しかけ、英語になれる努力を続けました。次第に環境に慣れていきゲストと業務内容以外のことを話したり、職場で仲のいい友人を作ることができました。</p>
留学先における学習、課題や試験	<p>私は、仕事と課題の両立が大変に感じました。課題はだいたい週1回のペースであり、常に何かしらの課題がある状況でした。そのため、仕事が終わって深夜12時以降に帰ってからもリビングで課題に取り組んだり、私は通勤時間が往復で1時間ほどかかっていたため、バスの中で隙間時間を活用しながら課題をこなしました。また、私は明治の学生とルームシェアをしていたので課題をお互いに教え合い、助け合いながら終わらせていました。</p>

<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>仕事は、夕方からが多かったのでそれまでにスーパーへ行ったり、洗濯をしていました。また、私は1人でも時間があれば、出勤前にパークに行って後悔しないように遊んでいました。さらに、オーストラランドにはディズニーワールド以外にも、近くにユニバーサルスタジオやシーワールドなど他のテーマパークもあり、年間パスポートを購入してよく訪れていました。また、友人と休日を合わせカリフォルニアやニューヨークなど3、4日間旅行に行きリフレッシュしていました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>私はディズニーのリクルーターとの最終面接の合格し、インターンシップ参加決定してから気を緩めてしまいました。そして、私は英語の勉強を疎かにしてしまっていたのでできる限りディズニーワールドについて調べたり、映像を見て勉強のモチベーションを保ちながら、留学までの4・5か月を過ごすことおすすめします。実際に現場で働いてみると、自分の英語力を目の当たりにし留学前もっと勉強しておけばよかったと私は後悔しました。</p>